

夢窓幼稚園通信第10号

2015年 5月 7日

— 61歳の創立記念の日 —

今私たちはかなり物騒な時代を生きています。

かなりいい加減で「ものぐさで飲んだくれて」したい放題…の僕ですが非常に危機感を抱えています。

真剣に今の時代を、未来の社会を見つめ思いめぐらさないと大変です。ちょうど100年ほど前の1914年に、第一次世界大戦が始まりました。過去のこととしてでなく、今まで続きさらに深刻化していく問題の意味を見つけていかないといけません。

学ぶために学ぶのではなく、(いい加減さや好き勝手…の何倍もの)力をこめて時間を向けていかないと!と、思っています。

私たちは「子どもたちが幸せになってほしい!」「豊かに育ってほしい!」と、心から願っています。

人の「幸せ」とは何なのでしょう? 「豊かさ」とは どのようなことを指すのでしょうか?

たくさんの人と話しをする中で気がついたのですが、例えば1500年前と今とを比べたとき、ほとんどの人が昔より今の方が社会が「進歩」「発展」したと思っているようなのです。

2015年の世界を見て、近代化している先進国と、未開…とまでは言わなくともテクノロジーがそれほど入ります。昔からの民族の習慣が保持されているような地域とを比べると近代的な都市の生活の方が明らかに豊かだと、漠然と感じてしまうのです。

確かに様々なものが産み出され便利になり、経済的に潤い…現地の人は半ば近代的な生活を求めていることでしょう。

僕も無意識には今の方が……と感じ、あえて不便を求めて生活しようとは思いません。

それでも……どこかがおかしい、「入」がおいできぼりになっている！と心が叫んでいるのです。

進歩はスピードや効率を、他ならない人自身に要求します。未来の幸せを得るために今を犠牲にしてはたはた忙しくあることを、経済界・産業界が成り立つように一人ひとりが大切にしている心情や精神性が認められずがまんすることを……仕方がないと受け容れないといけなんでしょうか。

人はひとつひとつのかけがえのない「今」を生きていてはいけないのでしょうか。一人ひとりが自分の「今」を大切にすることなくして、他者の「今」を受けとめ、共につむぐ時間や場所を「私たちの社会」と思えないのではないのでしょうか。

かなり物騒な時代の中で、私たちはしなくてはならないことに、しっかりと向き向けないといけなと思います。

「憲法記念日」のあとに「子どもの日」があり、私たちの「創立記念日」が続きます。61歳の誕生日はもうあと戻りできない覚悟で迎えな！という思いの中でのお祝いです。

園長 升光 泰雄

————— * ————— * ————— * ————— * ————— *